

地域高規格道路 『松本糸魚川連絡道路』 安曇野地域の概略ルート案

1 安曇野地域の地下水は三川合流部に集まり、湧出している

- 地下水位の一斉観測結果（図-1）から、地下水は、犀川、穂高川、高瀬川の合流部に向かって流動しており、三川合流部は豊富な地下水が存在する。

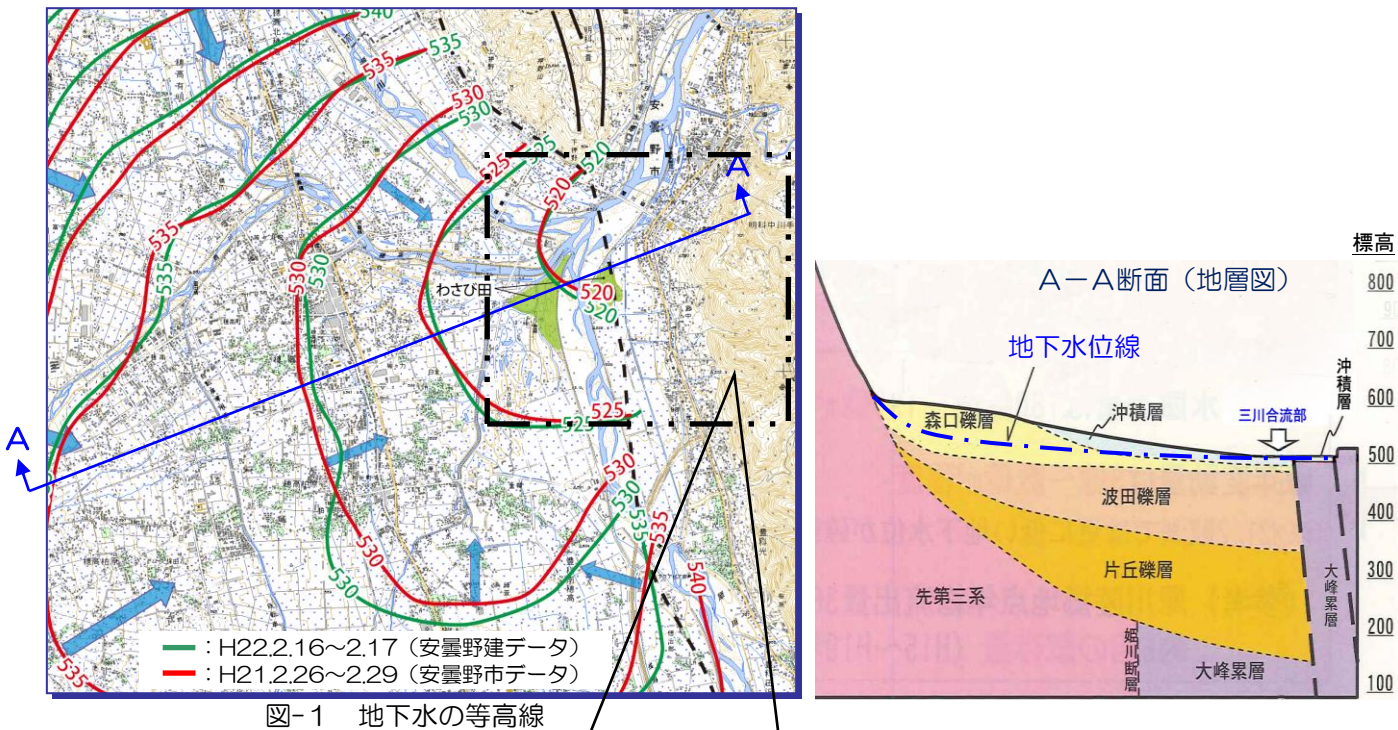


図-1 地下水の等高線

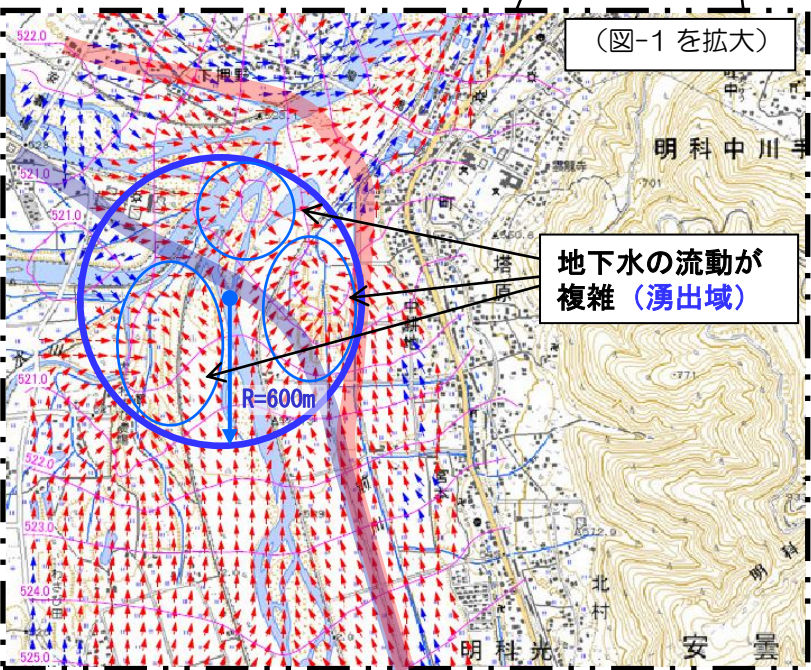
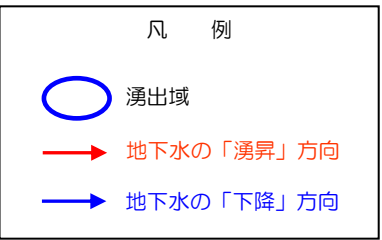


図-2 地下水シミュレーション

- 地下水シミュレーションの結果（図-2）、三川合流部では地下水流動が複雑に変化しており、構造物設置により、地下水流動を乱すと、わさび田の湧水に影響する恐れがある。



2 地下水位は犀川水位などと密接に関係している

- 犀川流量と地下水位を観測した結果（図-3）、地下水位は、犀川水位と連動して変化していることから、お互いに密接な関係で水位を保っている。
- 特に、右岸側の明科地区（明科わさび田を含む）は、犀川水位と地下水位との相関性が高い。

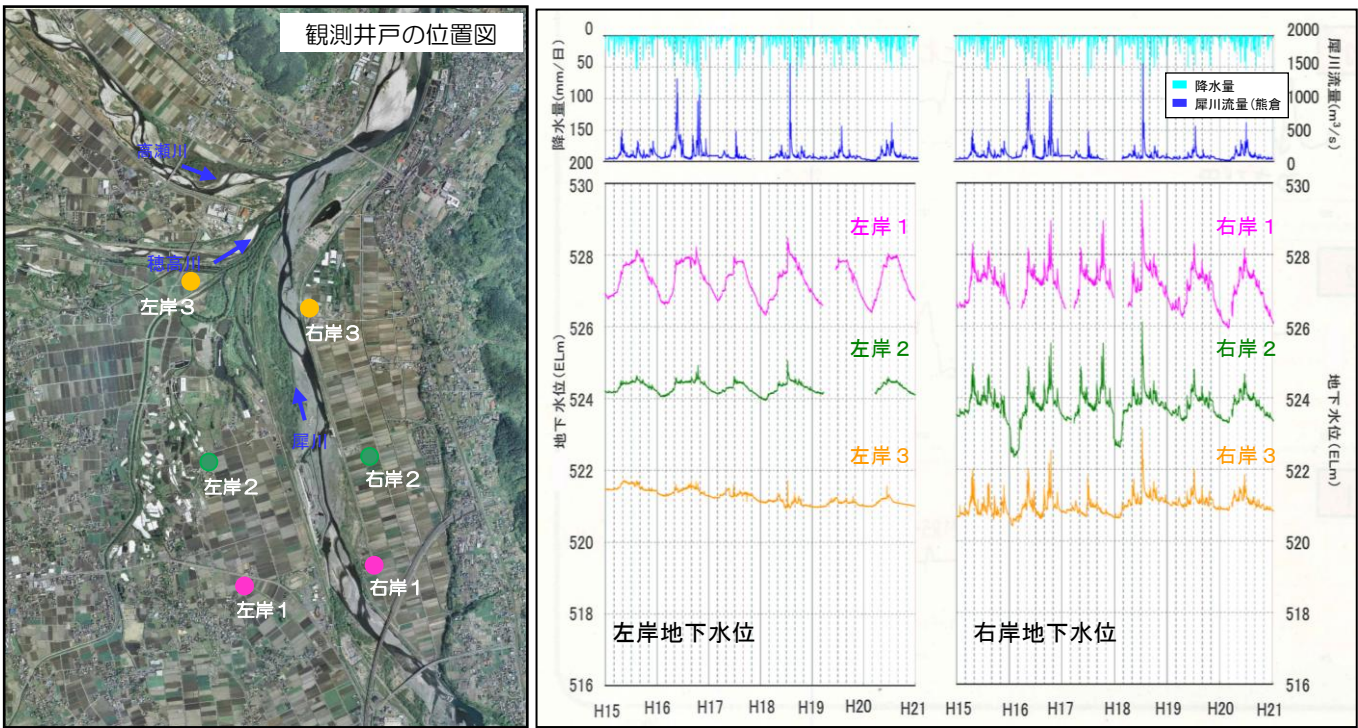
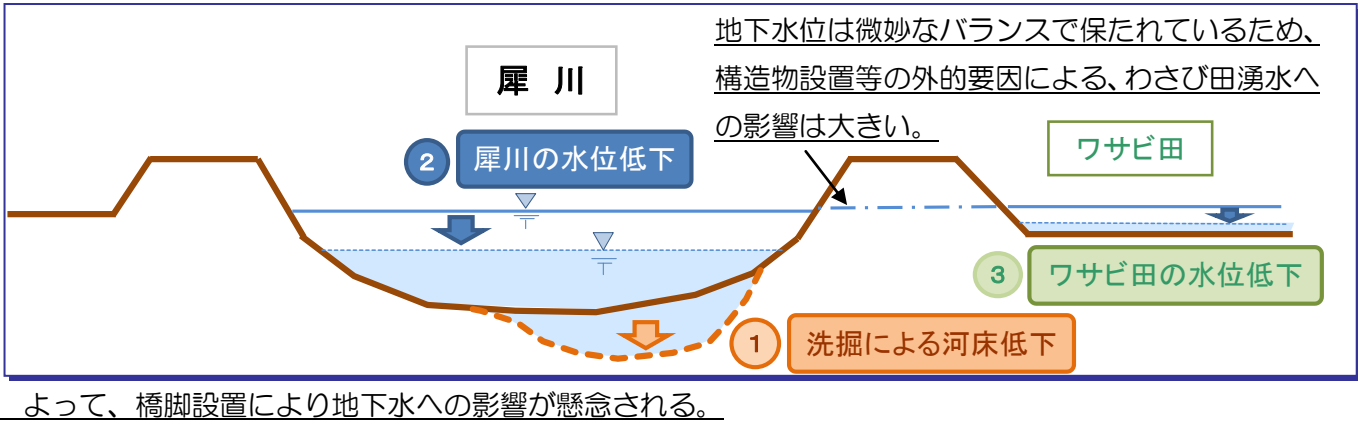


図-3 犀川流量と地下水の関係

平成19年に犀川右岸のわさび田において湧水が枯渇する現象が発生

- 洪水による滞筋変化で、局所的に河床が洗掘（H18.7の洪水が原因と推定）
- 犀川の水位が低下
- 低下した犀川水位に引っ張られる形で、わさび田の湧水が減少と推定



三川合流部の湧出域における橋台・橋脚の設置は困難